

「大震災から3ヵ月、 今こそ住宅・居住支援を」 —住まいは人権デー・市民集会—

と き:2011年6月11日(土) 13:30~16:30 (13:00開場)
と ころ:渋谷区・千駄ヶ谷区民会館・集会場(渋谷区神宮前1-1-10)
(JR山手線原宿駅より徒歩10分、地下鉄千代田線明治神宮前駅より徒歩8分)

会場案内図



東日本大震災から6月11日で3ヵ月が経ちます。私たちは大震災2週間後の3月25日に「住宅・居住支援についての緊急要請書」を内閣と国土交通大臣に提出し、取り組みをすすめ、国から一定の回答を得てきました。しかし、被災者の住宅・居住支援は多くの分野で不十分なものとどまり、「現状では一命を取り留めた被災者の生命が脅かされる事態が続き、避難所の緊急改善とともに、住宅の確保と居住の安定が何にもまして重要」(要請書のまえがき)である現実と直面しています。こうした中、住まいは人権デー(毎年6月14日)に合わせて住宅・居住支援の抜本的な拡充を各界、各方面に求める市民集会を開催するものです。ぜひご参加下さい。

《 主な集会内容 》 主催者挨拶 稲葉 剛(住まいの貧困に取り組むネットワーク)
(資料代カンパ500円・払える人のみ)

★〔第1部〕《大震災3ヵ月、被災地の現状と住まいの問題》

- ①映像から見る被災地の現状—まちと住まいは、
- ②被災地の全体的状況と私たちがなすべきこと、
- ③女性をはじめ被災者の実状と支援について、
- ④首都圏の避難所の実態と居住問題
- ⑤被災地と借地借家の諸問題について、など(報告テーマは仮題・予定)

★〔第2部〕 パネルディスカッション 《住宅・居住支援の実際と抜本的な拡充をめざして》

パネリスト 新井信幸(東北工業大学工学部・講師)、稲葉剛(自立生活サポートセンター「もやい」代表理事)、早川由美子(映画監督・住宅ドキュメンタリー映画「さよならUR」制作者)、進行:坂庭国晴(住まい連代表幹事、日本住宅会議理事)

★〔第3部〕《住まいは人権》デモンストレーション(会場から渋谷駅周辺まで・予定)

〔開催団体〕 日本住宅会議、住まいの貧困に取り組むネットワーク、国民の住まいを守る全国連絡会、
〔連絡先〕 NPO住まいの改善センター TEL03-3837-7611 fax03-3837-8450